

【本日締結】

宇都宮市の掲げる「災害関連死ゼロ」を、循環型技術「8R」で実現する。
ピースノート、宇都宮市と「災害時応援協定」を締結
～ 能登半島地震でも活躍した「移動型コンテナ」で、質の高い避難所環境
を即座に提供 ～

株式会社ピースノート（本社：栃木県宇都宮市鶴田町1427、代表取締役社長：河村 公威）は、本日2026年1月27日、宇都宮市（市長 佐藤 栄一 様）と「災害時における移動式コンテナの供給に関する協定」を締結いたしました。本協定は、宇都宮市が目指す「災害関連死ゼロ」という目標に対し、当社の「8R（循環型社会への独自思想）」に基づく移動型コンテナ（医療用・木造ユニット等）を提供することで、避難所の環境改善という側面から強力にバックアップするものです。



左：株式会社ピースノート 代表取締役社長 河村 公威 右：宇都宮市 市長 佐藤 栄一 様

■ 協定締結の背景

実績に裏打ちされた「8R」の防災力

当社は廃棄物処理事業から生まれた「もったいない」の精神を原点に、従来の3Rに加え、Remake（作り直す）やRealize（実現する）などを含めた独自の「8R」を掲げています。

この「資源を循環させ、価値を変える」という技術は、災害時において「必要な場所に、必要な機能を、即座に届ける（Reuse/再利用・場所を変えて利用）」という強みに変わります。

【能登半島地震での活動実績】

2024年の能登半島地震においては、政府（内閣官房国土強靱化推進室）からの要請を受け、当社の医療用コンテナ「モバイルクリニック」を被災地へ移設・設置いたしました。「8R」の思想で設計されたコンテナは、過酷な環境下でも迅速に設置でき、プライバシーと衛生環境を確保することで、多くの被災者の方々の心身のケアに貢献しました。この現場での経験と実績が、今回の宇都宮市との協定にも活かされています。



被災地での設置作業の様子（設置型コンテナの場合）



- 設置場所においては、事前に地盤や作業ヤードの確保などの調査を行っており、その情報に基づいて設置作業を実施。設置後は施設責任者へ鍵の受け渡し、取扱説明を行った。



※写真は神奈川県横浜市の医療機関に設置されていた医療コンテナ及び同タイプの医療コンテナ

2024年1月1日に発生しました能登半島地震おきまして、内閣官房国土強靱化推進室・石川県庁との連携によりモバイルクリニックを神奈川県藤沢市と栃木県宇都宮市から移設して支援を実施いたしました。

■ 「8R」がなぜ「災害関連死ゼロ」に貢献するのか

災害関連死の多くは、避難生活におけるストレスや環境悪化が原因と言われています。

- Reuse（再利用・場所を変えて利用）：

平時は別の用途で使い、有事にはすぐに避難所へ移設。新品を作る時間を待つことなく、「スピード」を持って安心できる空間を届けます。

- Remake（作り直す） & Realize（現場の声を形にする）：

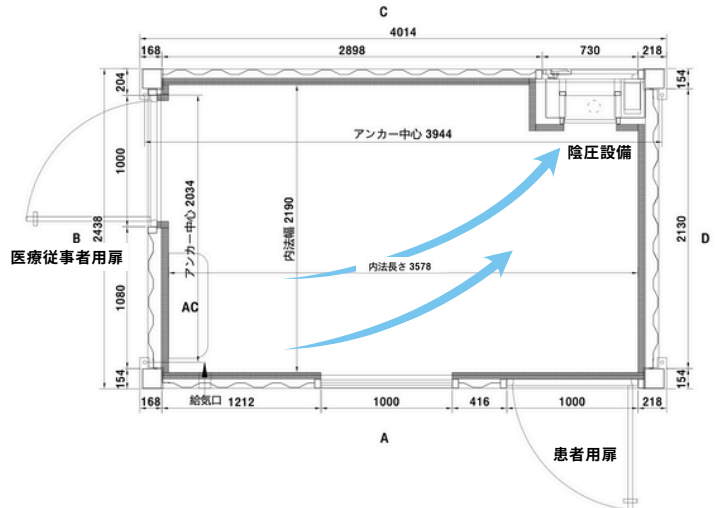
頑丈な鉄骨や、加工しやすい木造ユニット（モクシード）は、現場のニーズに合わせて柔軟に仕様変更が可能。「授乳室がほしい」「子供の遊び場がほしい」といった声をRealize（理解する）し、ストレスを軽減することで、災害関連死のリスクを低減させます。

■ 供給する移動式コンテナの特徴

1. 医療用コンテナ「モバイルクリニック」 陰圧設備や空調を完備し、感染症対策に対応した個室空間です。発災直後の救護所としてはもちろん、プライバシーが守られた健康相談室としても機能します。



能登半島地震へ医療コンテナを移設



2. 木造ユニット「MokuSeed（モクシード）」 環境に優しい木材を活用し、コンテナの機動性と木の温もりを融合させました。

＜想定される用途＞

- ベビールーム：安心して着替えや授乳ができる個室として
- キッズスペース：子供たちが声を気にせず遊べる場所として
- 学習・テレワーク室：静かな環境が必要な場面に
- ペットと一緒に避難できる個室型避難所



災害対応車両登録制度の要件を満たした
木造の小屋「MokuSeed(モクシード)」



避難所としての活用はもちろん、
ユニットバスを施工した宿泊所にもなる

代表取締役社長 河村 公威 コメント

「私たちの根底にあるのは『8Rで地球を救う』という想いです。資源を大切にすることは、巡り巡って人の命や暮らしを守ることに繋がると信じています。災害発生時、使い捨ての物資に頼るだけでなく、平時から活用でき、何度でも再利用できる『移動型コンテナ』があれば、より迅速かつ環境負荷の少ない支援が可能になります。宇都宮市との連携を通じ、人と地球に優しい防災モデルを構築してまいります。」

株式会社ピースノートについて

栃木県宇都宮市を拠点に、解体・リサイクル事業からコンテナ建築、外構工事・リノベーション、特別管理産業廃棄物（PCB）事業まで幅広く展開。「8Rで地球を救う」をパーパスに掲げ、既存の枠にとらわれない資源循環型ビジネスを推進しています。

報道関係者様向け：画像素材ダウンロード

<https://x.gd/WJDxh>



お問い合わせ



会社名 : 株式会社ピースノート
所在地 : 栃木県宇都宮市鶴田町1427
HP : <https://piece-note.com/>
TEL : 028-680-6380
mail : contact@piece-note.com
担当者 : 菊池（営業）・細井（広報）

